

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	1066	同和教育研究推進事業	会計	1	一般会計
基本施策	38	互いを認め合い、すべての人の人権を尊重する	款	10	教育費
			項	5	社会教育費
			目	3	同和教育費
担当部課名	教育委員会阿山分室			細目	102
作成者氏名	森本勝美	連絡先	0595-43-0154	細々目	1
					同和教育研究推進事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	阿山同和教育研究協議会	阿山同和教育研究協議会を補助することにより同和教育研究を推進し、人権同和問題の正しい理解と認識が深められます。
本年度事業内容	阿山同和教育研究協議会補助金 1 講演会 1回 2 研修会等派遣 19人 3 会議等 3回	
開始年度	平成 17 年度	終了年度 平成 年度
根拠法令・要綱等		

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.5	0.4	0.4
	人件費合計(A)	3,600	2,880	2,880
②支出内訳(千円)	事業費(B)	500	500	500
	委託料			
	補助金	500	500	500
	その他			
合計(A+B)		4,100	3,380	3,380
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	受益者負担			
	その他特財			
一般財源		4,100	3,380	3,380
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
講演会回数	回	1	1	1			
研修会等派遣	人	19	60	60			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
講演会参加人数	阿山同研が主催する講演会の参加人数を指標としました。	人	287 目標 ()	130	150
研修会等派遣人数	阿山同研より各種関係団体の研修会に派遣する人数を指標としました。	人	19 目標 ()	60	60

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

平成17年度途中(9月)から設立されましたので時間的に余裕がなく年度末に事業が集中しましたので今後は年間を通し講演、研修等を計画する必要があります。また、リーダー養成のための講座、住民への周知活動もして行かなければなりません。

評価	必要性	4	本年度は設立総会ということで講演の参加人数も多く、多数の人に講演を聞いてもらいましたが、同研主催の研修会については、他団体との共催事業でしか実施できませんでした。今後は予算的なことも考慮しながら人権政策室、阿山分室、あやまづくり市民会議ともタイアップし、あらゆる差別解消のための事業展開が必要です。よって、今後も引き続き支援が不可欠です。	総合評価
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	3		
				A